

令和6年度 泥亀地域ケアプラザPDCAシート_公表用 (事業計画書、事業報告書、事業実績評価)

—総括表—

◆ 事業計画

地域の現状と今後の方向性

担当地域は人々が多く行きかう駅前の商店街や住宅地、大規模マンション等があり、多種多様な世代、世帯構成が共存しています。また、歴史的・文化的にも由緒ある場所です。3つの連合町内会・地区社会福祉協議会があり活動も活発ですが、中心的役割を担う後継者育成が課題となっています。また、閉じこもりの方、認知症の方、ヤングケアラー、ダブルケアラーなど支援を必要とする方の早期発見も課題です。それらを解決していくには、担当エリアの諸機関と情報共有できる関係構築が重要であり、積極的に出向き、顔と顔が見えるネットワークの構築を大切にしていきます。そして、区域計画・地区別計画の推進に向け、地域支援チームの一員として地域で生まれるインフォーマルサービスや介護予防への取組等を支援・周知していきます。これからも、住み慣れた地域で暮らし続けられるよう、地域の特性・実情にあわせた地域福祉活動を行います。

今年度の重点的な取組

新規
継続

—具体的な取組内容—

■ エリア内にある福祉保健施設の協力を仰ぎ、地域住民の身近な通いの場づくりを実施します。

■ 地域課題を話し合う場として行ってきた「つながりの輪 この指と～まれ」から派生した事業(地域の居場所 わっか・体験！男性アレコレ講座)や地域活動への参加を通じて、地域のニーズや課題、強みを把握。その課題解決にむけた支援を6職種協同で推進していく。

■ 地域住民への出前講座や各種啓発や養成講座を多世代にむけて開催していきます。

■ 「体験！男性アレコレ講座」から発足したグループが、自主的に興味ある活動に取り組み、学んでいけるように支援。シニア男性が地域活動に参加するきっかけ作りを行う。

■ 地域支援を行う中で、担い手や支援者の後継者不足がある。現在の地域支援者に負担が重ならないように、地域活動支援者の支援を行うと同時に、プレイヤーの発掘・育成を共に行う。また多種多様な見守りや地域活動支援を他機関で関わるができるネットワークを構築していく。

◆ 事業報告・事業実績評価

振り返り

担当する3つの地区の地域活動に6職種で積極的に参加。サロン活動をはじめ地域住民が主体になって行っている活動について相談を受けることも多く、ケアプラザの事業等で好評であったプログラム等の講師の紹介・調整などを行い、地域住民が無理なく活動を続けていける支援を行った。活動の主催者だけでなく、地域の皆様からも自分の身近な場所で多様なプログラムを体験できることで好評の声をいただくことが出来た。シニア男性を対象とした講座では、新規で参加する男性も複数名いらっしまった。
新たな事業「花植えボランティア講座」において、講座を受講された方が花植えボランティアグループを結成し、参加メンバーも増えている。また地元の小学校の環境整備委員会と合同で、花壇づくりを行った。
地域支援において、6職種会議や職員会議でしっかりと共有し、多職種が意見を出し合うことで、地域からの問合せに、誰もが進捗状況を把握し、対応できる体制となっている。

区からのコメント

以前から引き続いて、6職種間の良好な連携と、アウトリーチを大切に丁寧な地区状況の把握により、地域との信頼関係を構築されながら地域の方に寄り添った支援をしていただきました。必要に応じ地域のサロン等の企画段階から支援に入りながら、地域の方が無理なく活動を継続できるよう、住民主体の視点を大切にされた後方支援を展開していただいています。

コーディネーターと包括が連携し、ケアマネージャーや民生委員等にアプローチされ、インフォーマルサービスについての情報交換等されるなど、身近な地域で長く生活ができるような支援の土壌づくりを着実に進められています。そういった積み重ねで地域の中での「ゆるやかな見守り」体制ができることにより、支援を必要とする方の早期把握などに繋がっていると感じます。

次年度も引き続き、多職種で連携しながら、地域の方が笑顔になる活動を継続していただけますようお願いいたします。